

かけがえのない命のために… 国際人道援助活動の現実

4月27日木曜日 13:00～14:30 津田塾大学 特別教室

2016年度津田梅子賞受賞

黒崎 伸子氏

世界には、紛争や天災で傷つき、助けを求めている人がたくさんいます。今回の講演では、国境なき医師団から、黒崎伸子氏をお招きします。

人種・宗教・国境を超えた医療支援の現場をぜひ目の当たりにしてください。



略歴

特定非営利活動法人国境なき医師団日本・前会長（2010-2015）医師（専門：小児外科・外科）

1957年長崎県生まれ。1981年長崎大学医学部卒業後、東京女子医大病院一般外科および聖隷浜松病院外科で研修。1983年より長崎大学医学部附属病院第一外科、国立小児病院（現：成育医療センター）外科に勤務。1989年から長崎大学第一外科講師として小児外科の診療・研究及び教育に当たる。2001年以降、健康保険諫早総合病院外科、独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児外科医長、独立行政法人国立病院機構長崎病院外科医長などを歴任。現在は黒崎医院院長として日々の診療や地域医療に従事している。

2001年より国境なき医師団の医療・人道援助活動に参加。スリランカ、ヨルダン、リベリア、ソマリア、シリア及び東日本大震災被災地での緊急援助活動他、計11回派遣され、外科医として活動に従事。2005年3月から2006年6月及び、2009年3月から2010年3月まで国境なき医師団日本副会長、2010年4月より2015年3月まで会長を務めた。現在は、国境なき医師団日本監事として、同団体の運営に関わっている。長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科国際健康開発コース（MPHコース）の非常勤講師や長崎大学熱帯学研究所倫理審査委員会委員長なども務めている。